

２０２０年度式下中学校

進路通信　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　2020.6.22

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 第3-②号



さくら

公立高校の試験について

　　奈良県の公立高校においては大きく２つの試験があります。ただし、私立高校と違って、併願というシステムはなく、合格をすると必ずその学校に行くということになります。(専願・併願については３-①号を参照してください)

例えば併願で私立高校に合格していて公立高校を合格すると、その私立高校には進めません。(その私立高校にどうしても行きたければ、専願で受験する必要があります。)

受験する際にはしっかりと自分の意思を周りに伝えることも大切です。

さて、そんな奈良県の公立高校には大きく２つの受検方法があります。

1. **特色選抜(２月１８日、１９日実施)**

奈良県の公立高校において、普通科以外の学科について行われる入学試験。

各高校が奈良県教育委員会が作成する国・英・数の３教科の学力試験を実施するとともに、

「学校独自検査」「面接」「実技検査」の中から１つ以上を選んで実施される。

**※一般選抜よりも早く実施され、合格した場合は一般選抜は受けられない。**

1. **一般選抜(３月１１日実施)**

奈良県の公立高校において、主に普通科の学科について行われる入学試験。

奈良県教育委員会が作成する国・英・数・社・理の５教科の学力試験が実施される。

　公立高校でも、このように自分がめざすべきことに応じて選択していくことになります。

自分のやりたいことや将来の夢、先を見つめて高校の選択をしていってほしいと思います。

県立高校入学者選抜の日程が発表されています！

　２０２１年度奈良県立高等学校の入学者選抜(特色選抜、一般選抜など)の日程が、以下の通り発表されています。(詳しくは、奈良県教育委員会ＨＰを見てください)

|  |  |
| --- | --- |
| **特色選抜** | **一般選抜** |
| **学力検査・・・２/18(木)、19(金)**  **合格発表・・・２/25(木)** | **学力検査・・・３/11(木)**  **合格発表・・・３/17(水)** |

■ 公立高校入学者選抜について

公立高校は私立高校と違って、合格者が全員入学する、という前提で入学選抜を行います。そのため、「専願」・「併願」という制度はありません。全員が同じ基準で合否判定されます。

次に、みなさんの受検から変更された内容を書いておきます。

今年度の変更点で大きいことは、校名が変わる高校があること。もう一つは、それらにともなって募集されなくなる高校があるということです。例えば、「私は絵が得意なので高円高校の美術科に行きたい」と思っている人がいるとします。ですが、次年度より高円高校は名前が変わって「高円芸術高等学校」として美術科の募集が行われます。今までの校名で探したときに見つからない可能性がありますが、基本的には校名が変わっているだけで特色は変わらないので、どの高校がどの名前になったのかは把握しておいてください。

**１．校名が変更された高等学校**

**・高円芸術高等学校　←**（旧高円高等学校）

　　【普通科・音楽科・美術科・デザイン科】

**・奈良商工高等学校　←**（旧奈良朱雀高等学校）

　　【(全日)機械工学科・情報工学科・建築工学科　総合ビジネス科・観光ビジネス科・情報ビジネス科】

　　【(定時)機械科・ビジネス科】

**・県立商業高等学校　←**（旧奈良情報商業高等学校）

　　【商業に関する学科】

**２．新しく募集を開始する高等学校**

　・**奈良南高等学校　←**（旧大淀高等学校・旧吉野高等学校）

　　【普通科・情報科・総合学科】

**・県立大学付属高等学校　←**（旧西の京高等学校）

　　【探究科】

**３．今年度より上記以外で募集しない高等学校**

**・大宇陀高等学校**

**■ 国立高校について**

私立・公立以外に国立高校(奈良県では奈良高専など)もあります。受検の形も県立・市立とは違い、１月に推薦選抜が行われたり、「併願」のシステムもあります。詳しくはまた先生に質問してください。